



## 連続企画

# 第10回かたりばカフェのご案内

終わりが見えないロシアによるウクライナへの軍事侵攻。なぜこんな軍事侵攻が起きて、どうしたらこの軍事侵攻を止めることができるのでしょうか。

前回のかたりばカフェでは、なぜプーチン大統領がこの軍事侵攻をやると思ったのか、彼の意図や背景を解説した新聞記事を読み解くことに挑戦しました。①国の大小によって主権に差があり、大国であるロシアに小国であるウクライナは従わなければならないと考えていること。②アメリカがロシアを世界の大国として認めないことに対する恨みの感情があること。③ウクライナなどの近隣諸国がどんどん民主化すれば、プーチン政権の独裁的な統治が脅かされる可能性があること。これらのことが今回の軍事侵攻の背景にあることが理解できました。

しかし、まだ十分な理解には至らず、自分たちだけで学ぶのには限界があると感じました。そこで、今回は島根大学法文学部准教授の前田しほ先生（先生の紹介は裏面で）を招いてかたりばカフェを開催することにしました。ロシアの歴史や現状など、根本的な部分から一緒に学んでみませんか。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

- ☆日 時 9月3日（土）13：00～15：00
- ☆参加方法 会場参加（サンラポーむらくも）or オンライン参加
- ☆参加費 無料。未組の方の参加も大歓迎です。
- ☆その他 マスクの着用をお願いします。手指消毒、検温にご協力ください。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、延期または中止する場合があります。
- ☆問合せ先 島根県教職員組合 Tel (0852)21-2767
- 担 当 // 専門委員 元田一雄

## 前田しほ先生のプロフィール

島根大学法文学部准教授

言語文化学科文化交流論担当

北海道大学大学院文学研究科修了(博士(文学)取得)

専門:20世紀ロシア文学、ジェンダー研究、記憶研究

主著:「スターリングラード攻防戦の記憶をめぐる闘争:象徴空間としての戦争の記念碑」思想第1096号(2015年)など



島根県が面する日本海周辺地域は、未だ冷戦構造が残る政治的にデリケートな地域です。ところが、従来の北東アジアをめぐる研究は、資本主義圏側からの、いわゆる「西側」からの観点に立脚しがちでした。また内外に仮想敵を作って、攻撃し、共同体内部の統合を強めようという動きもとても気になります。しかし、私たちが生きる世界の平和と生活を維持することに本当に必要なのは、一方的に敵視するのではなく、他者に敬意を払った上で、異文化を理解しようとする努力ではないでしょうか。海外のいろんな国の状況を知ることによって、隣人を相対化し、我々自身の社会を見つめなおす、そして他者を敵視するのではなく、共生する術を考える力を身に付ける、そのようなバランスのとれた国際感覚を身に付ける場を大学の中に見つけてほしいと願っています。

(前田先生の島根大学「受験生へのメッセージ」より)

前田准教授は、相手を理解することと受け入れることは全く違うとした上で「理解できない他者を切り捨てるのが最も危険。理解し難くとも、なぜなのかと問い続けることが大事だと」強調した。

(市民団体「戦後史会議・松江」が主催した講座の内容を紹介した『山陰中央新報』の記事より)